

令和3年7月30日  
保健福祉政策部  
世田谷保健所

## 新型コロナウイルス感染症予防の取組みについて

### 1 主旨

新型コロナウイルス感染症について、区内の感染状況やこれまでの区の取組みを取りまとめたので報告する。

### 2 内容

別紙「新型コロナウイルス感染症予防の取組みについて」のとおり。

# 新型コロナウイルス感染症予防の取組みについて

令和3年7月

世田谷区



# はじめに

新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月の国内初の感染確認後、急速に感染が拡大し、社会や経済に甚大な被害をもたらし、最近では変異株の存在が相次ぎ明らかになるなど、今なお日本のみならず世界中に脅威を与え、猛威を振るいつづけています。

国はこの未曾有の事態に対応するため、令和2年4月から断続的に4度にわたり緊急事態宣言を発出し、不要不急の外出や移動について自粛を要請するなど、感染拡大防止に向けた緊急対策を進める中、区としても区民生活や事業活動を守り抜くため、この間、フェーズに応じた感染予防の取組みを実施してきました。

本資料は、引き続き区民の皆様に感染予防の取組みに向けたご協力をいただくとともに、今後の区の対策をより効果的なものとするため、区内の感染状況やこれまでの区の取組み等についてまとめたものです。

この間、令和2年7月に、7月時点での区への対応及び今後の対策の全体像を取りまとめ、その後、定期的に区内の感染状況や区の取組等を取りまとめてきました。この度は、令和3年7月18日時点での区内の感染状況等について、取りまとめています。

## 《これまでの区の感染状況等の取りまとめ履歴》

- ・令和2年7月時点
- ・令和2年8月28日時点
- ・令和2年10月28日時点
- ・令和2年12月23日時点
- ・令和3年1月31日時点
- ・令和3年4月18日時点

## ＜新型コロナウイルス感染症の感染者数集計の考え方＞

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」）12条に基づき、医師が作成した発生届に記載されている感染者の「所在地」が世田谷区である方について、区内の感染者として人数を集計しています。

集計にあたっては、HER-SYS\*に登録されている感染者を集計しています。ただし、以下に該当する方は集計の対象外としています。

- ①所在地が世田谷区であっても、発生届作成が区外の医療機関または区外の保健所の医師で、感染者の入院先または療養先も区外の医療機関である方
- ②クルーズ船（ダイヤモンドプリンセス号）乗客

なお、区のホームページ上で掲載している感染者数は、公表日の集計時点で区が把握した数値であり、本資料中の感染者数は、集計後の報告も含めて発生届の報告年月日で再集計したものであるため、ホームページ上と本資料中の数値に差異が生じる場合があります。また、本資料における各集計の数値は、今後の調査状況等により、後日変動、修正する場合があります。

## ※HER-SYS とは

厚生労働省が運営する新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムの名称。感染者等に関する情報を地域の関係者あるいは必要に応じて地域外の関係者の間で共有・把握するためのシステムです。

---

---

# 目 次

---

---

## 1. 区内の感染状況（令和3年7月18日現在）・・・・・・・・・・ P 1

- (1) 概要（7月18日現在）
- (2) 感染者の累計数
- (3) 感染者数の推移
- (4) 男女別の感染状況
- (5) 年代別の感染状況
- (6) 地域別の感染状況
- (7) 重症等の患者の状況
- (8) 死亡者の状況
- (9) 感染源の状況
- (10) 濃厚接触者の状況
- (11) PCR検査（従来型）数の推移
- (12) PCR検査（社会的検査）の実施実績
- (13) クラスター発生状況
- (14) 社会福祉施設等での感染の発生状況
- (15) 区立施設での感染の発生状況
- (16) 新型コロナウイルスワクチン接種状況
- (17) 令和2年度末の感染状況及び検査実績について（参考）

## 2. 区の感染予防の取組み（令和3年7月18日現在）・・・・・・・・・・ P 3 0

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関する業務フロー
- (2) 新型コロナウイルス感染症後遺症への対応
- (3) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者の増加を想定した対策強化
- (4) 社会的検査の取組み
- (5) 新型コロナウイルスワクチン住民接種の実施状況

---

# 1. 区内の感染状況（令和3年7月18日現在）

---

## （1）概要（7月18日現在）

### ①感染者数の推移

区内の感染者数は、4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、4月26日～5月2日の週に498人まで新規感染者数が増加しました。6月20日に解除され、まん延防止等重点措置に移行しましたが、その後急激に感染拡大し、7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出されましたが、12日～18日の週の感染者は655人となっており、3度目の緊急事態宣言の時の感染者数を上回っている状況です。

### ②年代別の感染状況

区内の感染者は、全感染者のうち20代から50代の感染者が全体の約8割を占めています。（区民全体における同年代の割合は約6割）。令和3年4月の年代別の感染状況と比較しますと、ワクチン接種が進んでいる60歳以上の感染者が減る一方、50歳以下の感染者が増加しています。また、高齢者施設内での感染は減少しているものの、保育園や小中学校での感染が増加しています。

### ③重症等の患者および死亡者の状況

全感染者数のうち、30代以下の感染者数が過半数を占めているものの、重症等の患者のほとんどが40代以上であり、30代以下の重症等のリスクは低いという傾向が表れています。また感染者における死亡者数は80代が最も多く、30代未満の死亡者は出ていません。年代別の感染者数では20代から50代が多い一方、死亡者数は80代が最多となっていることから、依然として高齢者ほどリスクが高い傾向は続いており、これらの年齢層に対しては引き続き、より感染を防ぐ対策が必要です。令和3年4月と比較しますと、重症者については40代と60代が、死者数では特に70代の増加が目立っています。

### ④感染源の状況

令和3年7月18日までの区内の新規感染者のうち、感染源不明（調査中含む）と区分している患者は、全体の約6割となっています。感染源判明と区分している患者のうち、家庭内感染が約4割、飲食店での会食等による感染や職場内感染が各約1割などとなっており、直近の感染源の状況を見ると、家庭内での感染の割合が増加しています。また、令和2年度と比較しますと、「家庭内」「職場」「保育園・幼稚園」が増加し、「医療機関」「福祉施設」が減少しています。

### ⑤社会福祉施設等での感染の発生状況

医療機関や高齢者施設におけるクラスターの発生が減少していますが、一方で、区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は530件把握しています。前回集計時（令和3年4月18日現在）の379件から、この3か月の間で約1.4倍の件数となりました。依然として高い水準で推移しています。また内訳では、前回集計時からこれまでの発生件数について保育施設等が65件となっており、前回集計時よりも発生件数が多かった高齢者サービスを超過しています。

## ⑥ ワクチン接種状況と感染状況

区は、集団接種、個別接種、巡回接種（高齢者施設接種）を組み合わせる方針のもと、安全性に最大限配慮した運営を進めており、7月末までに区の高齢者の85%が接種可能な体制を整備しました。一方で、第3四半期（7～9月）に入り、国から供給されるワクチンが減少する見通しとなったことから、集団接種の予約枠の制限や、医療機関へのワクチン供給の制限など、接種体制の調整を要する状況となっています。

なお、高齢者の接種が進む中、高齢者の陽性者の割合が減少してきています。

## （2）感染者の累計数

令和3年7月18日現在における感染者の累計数とその内訳（入院中、宿泊療養中、自宅療養中、退院等（療養期間経過を含む）、死亡）は以下のとおりです。

<感染者の累計数>



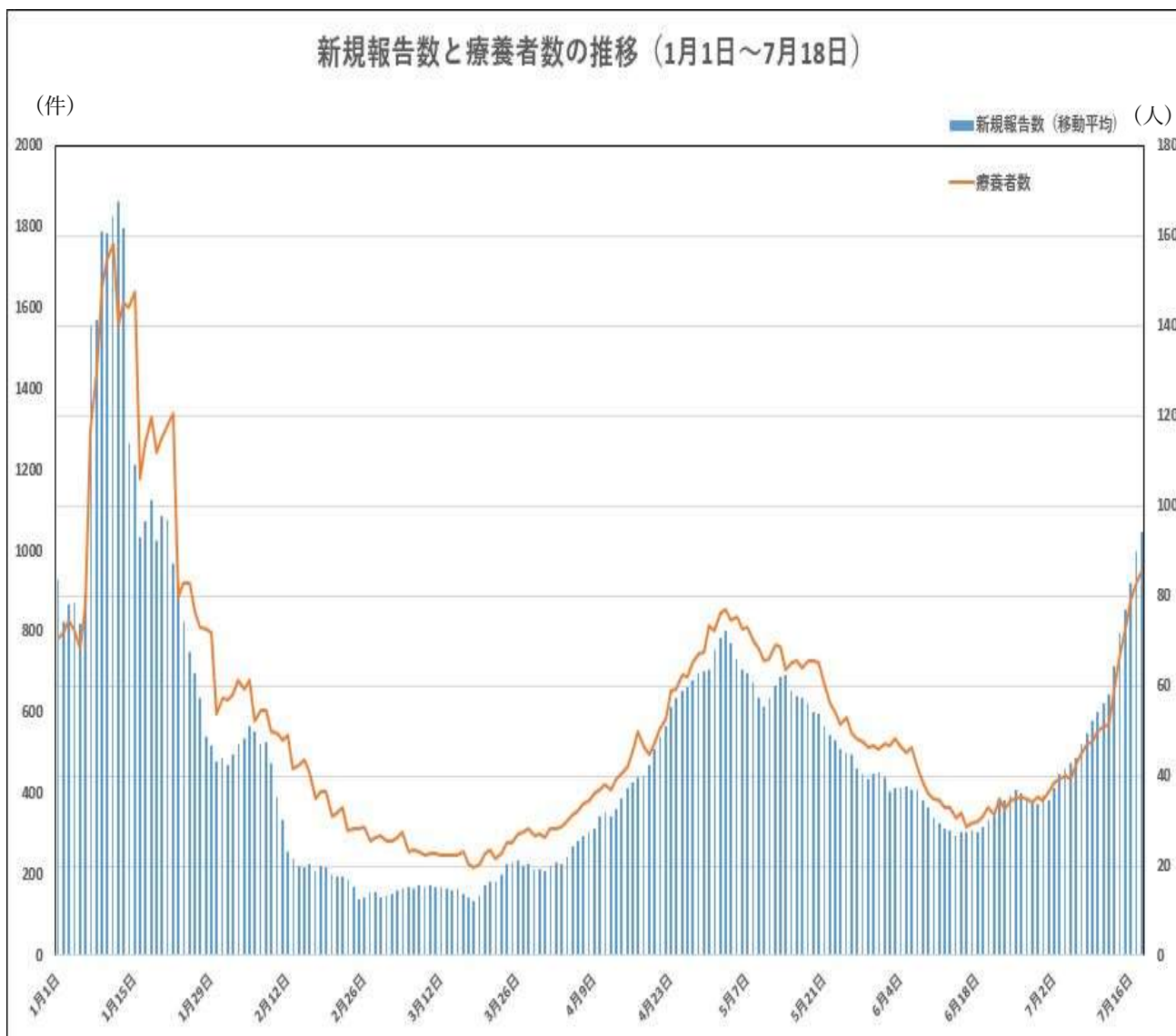
<区内の直近の感染状況の分析>

	ステージⅢ 感染者の急増	ステージⅣ 爆発的な感染拡大	6月21日 ～27日	6月28日 ～7月4日	7月5日 ～11日	7月12日 ～18日	前週との 比較
新規感染者	1週間で人口 10万人当たり <b>15人以上</b>	1週間で人口 10万人当たり <b>25人以上</b>	26.2人	31.2人	42.7人	71.2人	▲
療養者数 （入院者、自宅・ 宿泊療養者）	人口10万人当 たりの全療養者 数 <b>15人以上</b>	人口10万人当 たりの全療養者 数 <b>25人以上</b>	42.3人 <small>（6月27日時点）</small>	48.3人 <small>（7月4日時点）</small>	61.3人 <small>（7月11日時点）</small>	103.5人 <small>（7月18日時点）</small>	▲
PCR陽性率	10%	10%	7.3%	9.0%	10.5%	15.7%	▲
感染経路不明割合	50%	50%	59.1%	67.4%	67.4%	60.9%	▼

※PCR陽性率は、区が把握可能な検査件数を母数としており、区外の検査数の把握ができず分母に入らないため、数値が高くなる傾向にあります。また、国や都道府県、他の区市町村が算出している数値と算出方法（母数となる検査数）が異なるため、単純に比較することはできません。

※感染経路不明割合には感染経路調査中も含まれます。

<直近の入院者数、自宅療養者数、宿泊療養者数の推移>



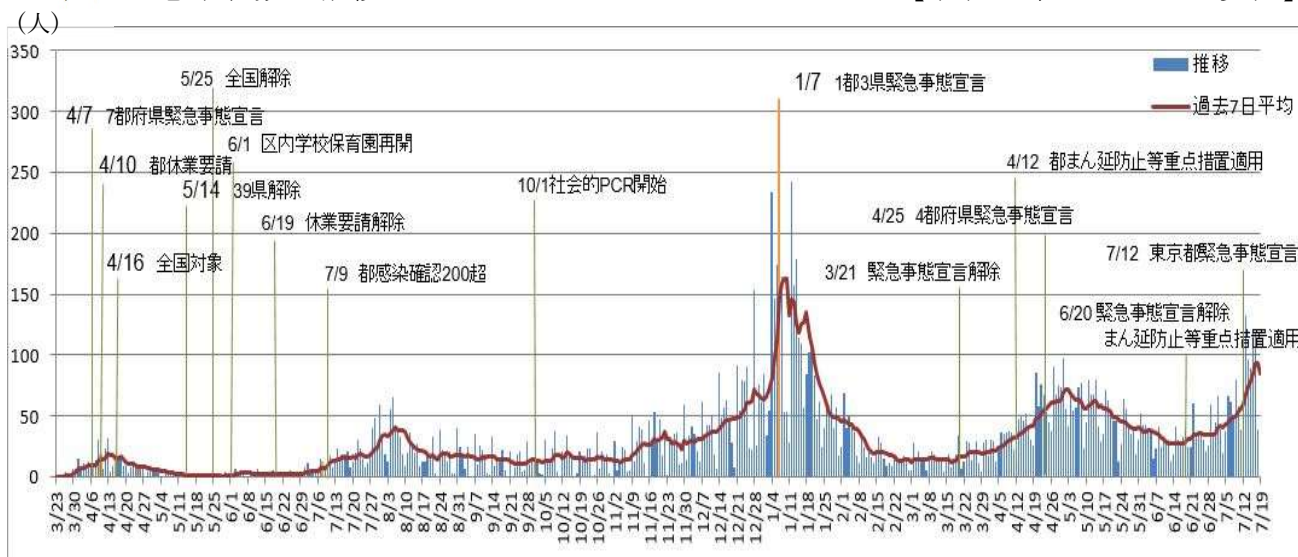


### (3) 感染者数の推移

区内の感染者数は、令和3年1月4日～10日の週に新規感染者数が過去最高の1,135人となり、1月7日に2度目の緊急事態宣言が発出されました。以降の感染者数は減少傾向にありましたが、4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、4月26日～5月2日の週に498人まで新規感染者数が増加しました。6月20日に解除され、まん延防止等重点措置に移行しましたが、その後急激に感染拡大し、7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出されましたが、12日～18日の週の感染者は655人となり、3度目の緊急事態宣言の時の感染者数を上回っている状況です。

<区内の感染者数の推移>

【令和3年7月18日現在】



<週ごとの感染者数推移>

【令和3年7月18日現在】

各週	感染者数 (人)
令和2年～令和3年1月3日	5,083
<b>1月4日～1月10日</b>	<b>1,135</b>
1月11日～1月17日	886
1月18日～1月24日	505
1月25日～1月31日	333
2月1日～2月7日	277
2月8日～2月14日	134
2月15日～2月21日	124
2月22日～2月28日	96
3月1日～3月7日	102
3月8日～3月14日	99
3月15日～3月21日	115
3月22日～3月28日	145
3月29日～4月4日	152
4月5日～4月11日	227

各週	感染者数 (人)
4月12日～4月18日	290
4月19日～4月25日	411
<b>4月26日～5月2日</b>	<b>498</b>
5月3日～5月9日	392
5月10日～5月16日	407
5月17日～5月23日	329
5月24日～5月30日	280
5月31日～6月6日	261
6月7日～6月13日	193
6月14日～6月20日	215
6月21日～6月27日	242
6月28日～7月4日	288
7月5日～7月11日	393
<b>7月12日～7月18日</b>	<b>655</b>
合計	14,267

## (4) 男女別の感染状況

男女別の累計感染者数は男性が女性の約 1.2 倍となっており、区民全体の男女比 47 : 53 (男性 436, 022 人、女性 484, 449 人。令和 3 年 4 月 1 日時点) と比較すると、男性に感染者数が多い傾向が見られます。

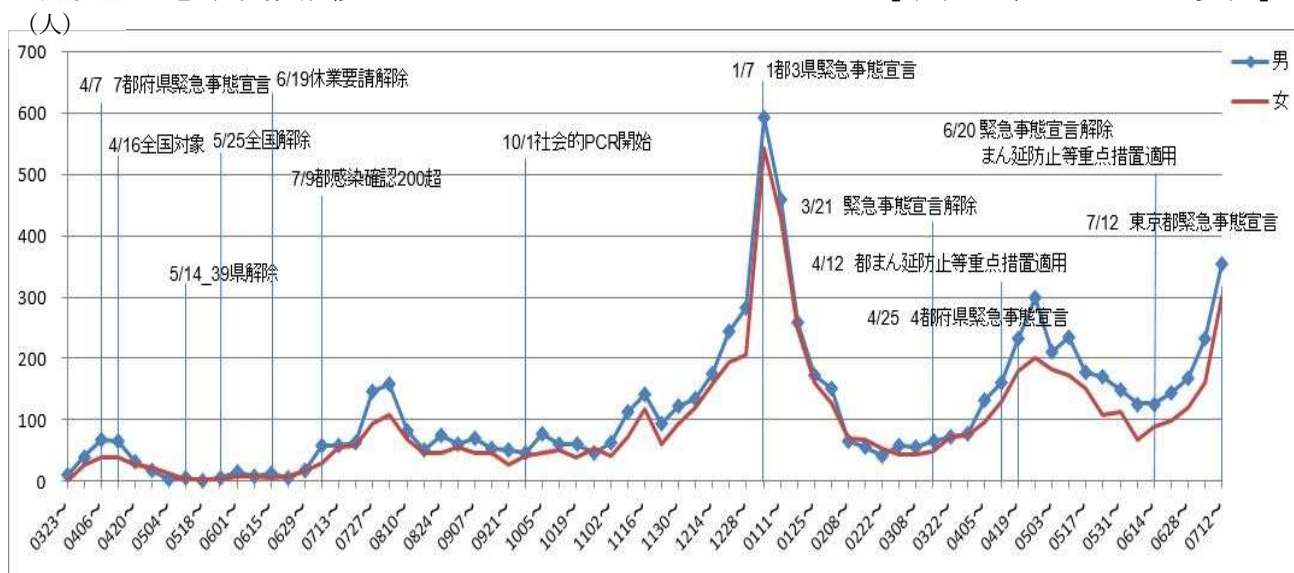
<男女別の感染者の累計>

【令和 3 年 7 月 1 8 日現在】

	男性	女性	計
累計	7,931 人	6,336 人	14,267 人
割合	56%	44%	100%

<男女別の感染者数推移>

【令和 3 年 7 月 1 8 日現在】



## (5) 年代別の感染状況

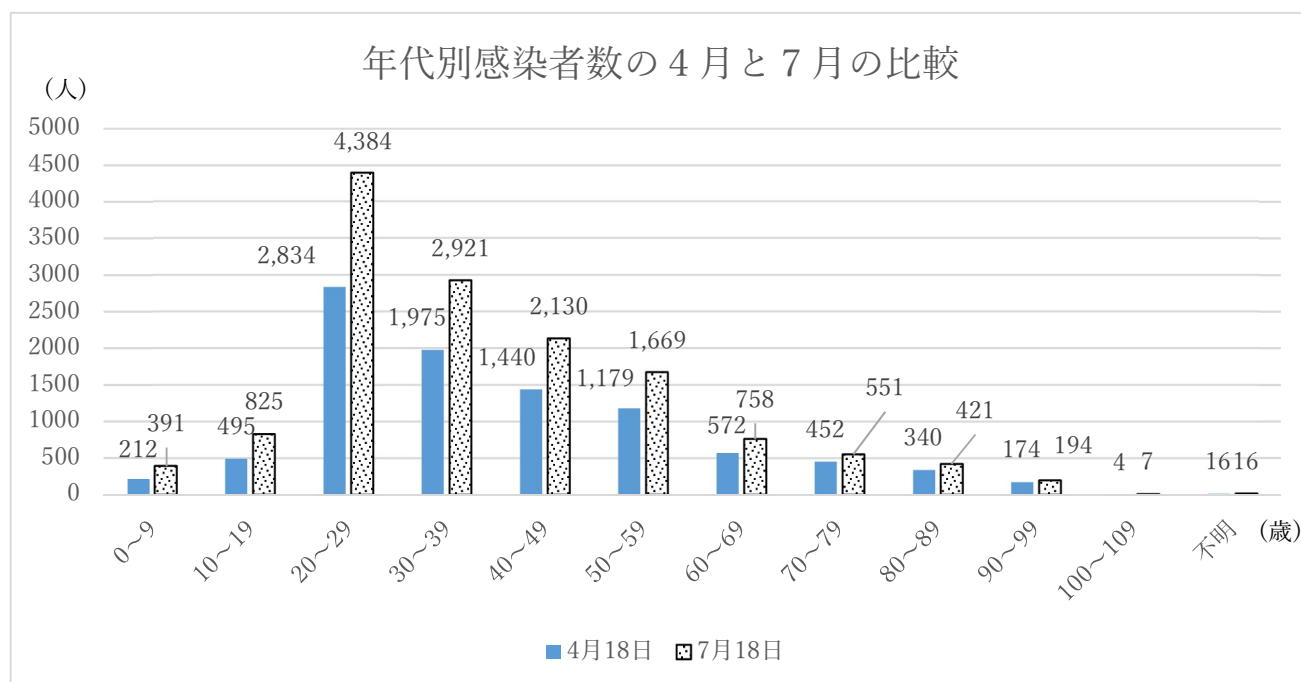
区内の感染者は、全感染者 14,267 人のうち 20 代から 50 代の感染者が 11,104 人と、全体の約 77%を占めています。(区民全体における同年代の割合は約 60%)。

一方で、20 歳未満及び 70 歳以上の感染者数は依然として低い割合となっていますが、令和 3 年 4 月の年代別の感染状況と比較しますと、ワクチン接種が進んでいる 60 歳以上の感染者が減る一方、50 歳以下の感染者が増加しています。また、高齢者施設内での感染は減少しているものの、保育園や小中学校での感染が増加しています。

20 代と 30 代の感染者が多く、こうした世代から、子どもや重症化リスクが高い高齢者への感染をいかに防止するかが大きな課題となっています。

<年代別感染者数の累計と前回（令和 3 年 4 月 18 日時点）との比較>

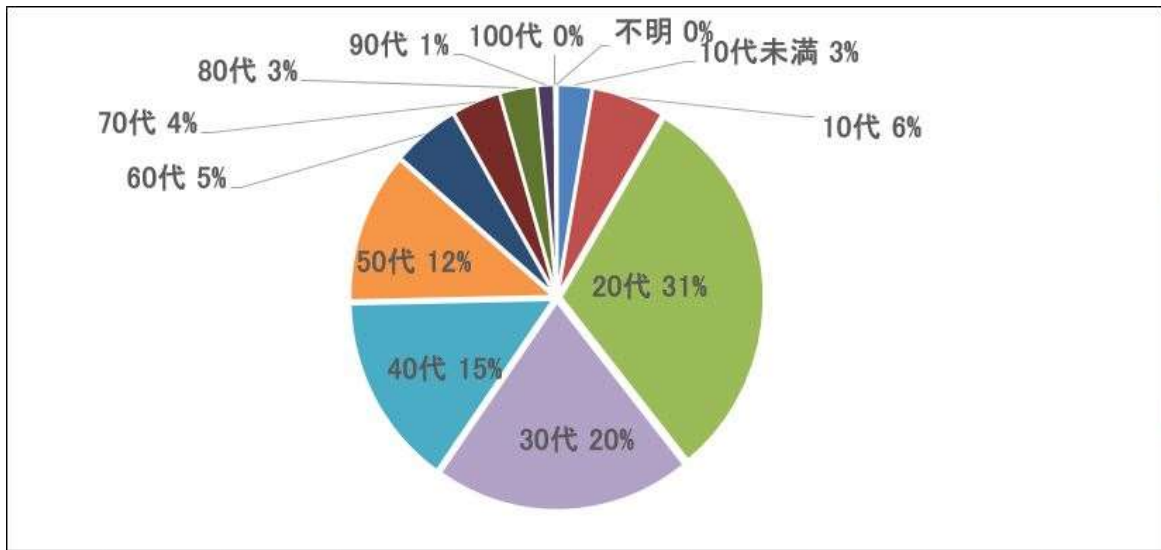
歳	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	不明	計
4 月 18 日	212 人	495 人	2,834 人	1,975 人	1,440 人	1,179 人	572 人	452 人	340 人	174 人	4 人	16 人	9,693 人
7 月 18 日	391 人	825 人	4,384 人	2,921 人	2,130 人	1,669 人	758 人	551 人	421 人	194 人	7 人	16 人	14,267 人
4 月→7 月の増加割合	1.84 倍	1.67 倍	1.55 倍	1.48 倍	1.48 倍	1.42 倍	1.33 倍	1.22 倍	1.24 倍	1.11 倍	1.75 倍	1.00 倍	1.47 倍



■すべての年代で感染者が増加しているが、20～29歳が最も多い

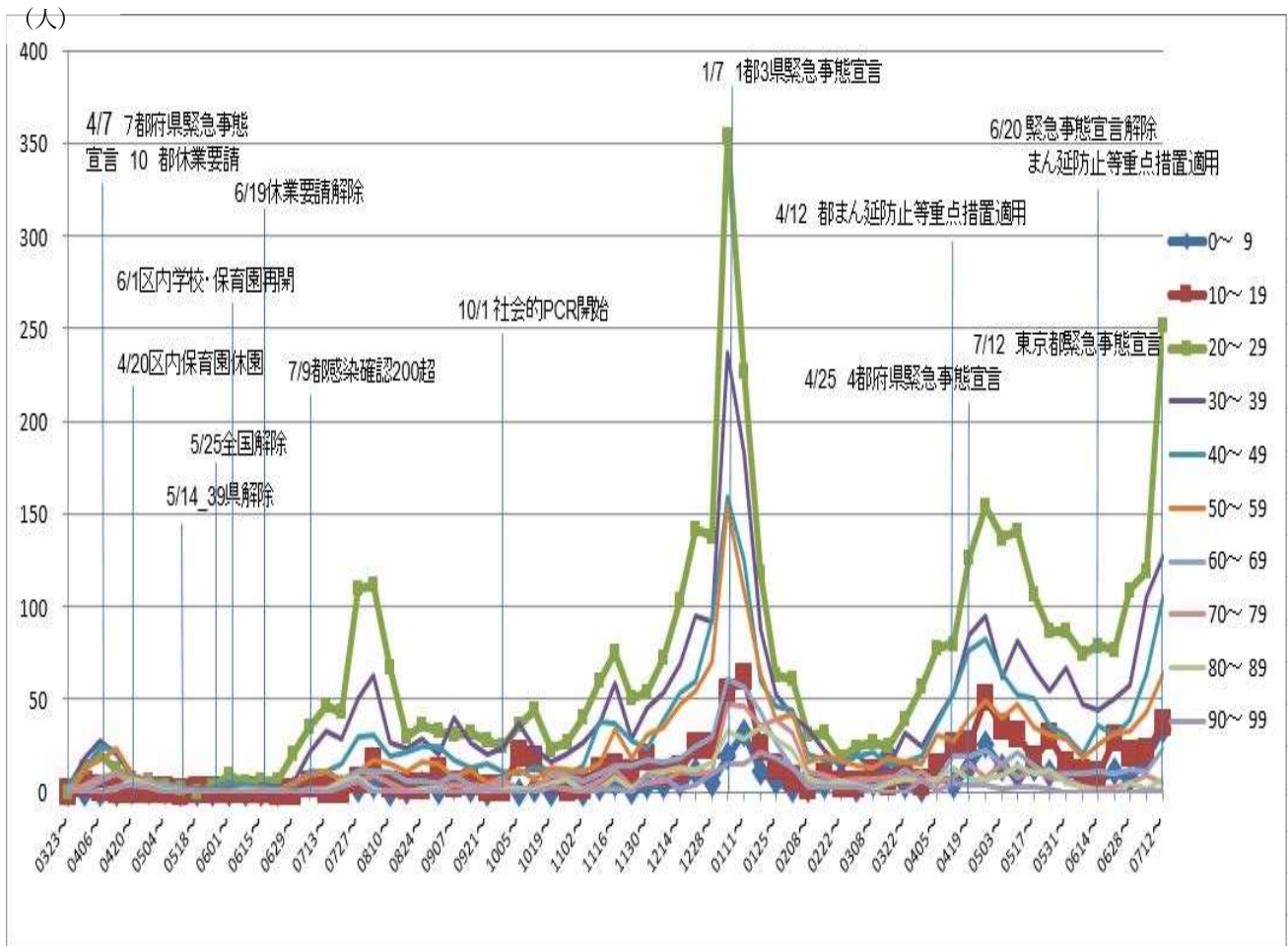
<年代別の感染者数>

【令和3年7月18日現在】



<年代別の感染者数推移>

【令和3年7月18日現在】



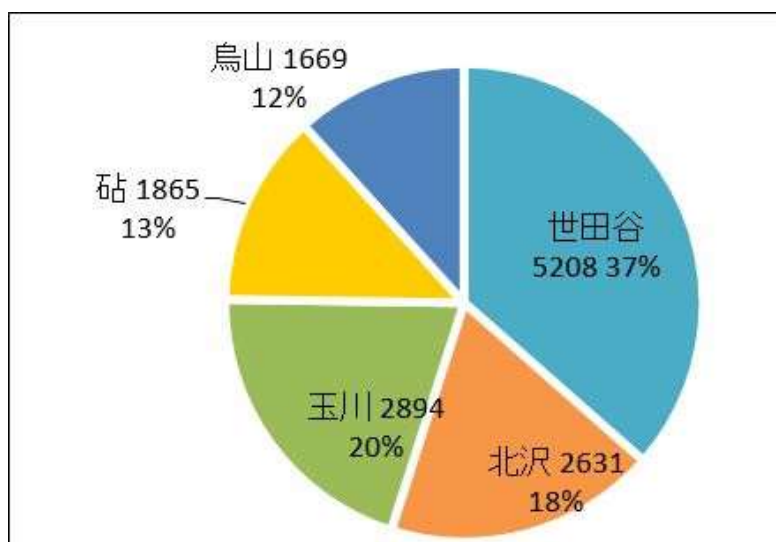
## (6) 地域別の感染状況

地域別の感染状況について、感染者数の累計及び人口 10 万人（令和 3 年 4 月 1 日時点）あたりの感染者数で比較を行いました。地域別の感染者数については、地域内で感染した感染者の数ではなく、あくまでも感染者の居住地別に累計を算出したものであり、数値の高さがその地域で感染が流行していることを示すものではありません。世田谷地域では、令和 2 年 4 月の国の緊急事態宣言発出前後、および 8 月下旬頃等に一時的に感染者が多くなっていましたが、その後は他の地域と同様の推移となっています。

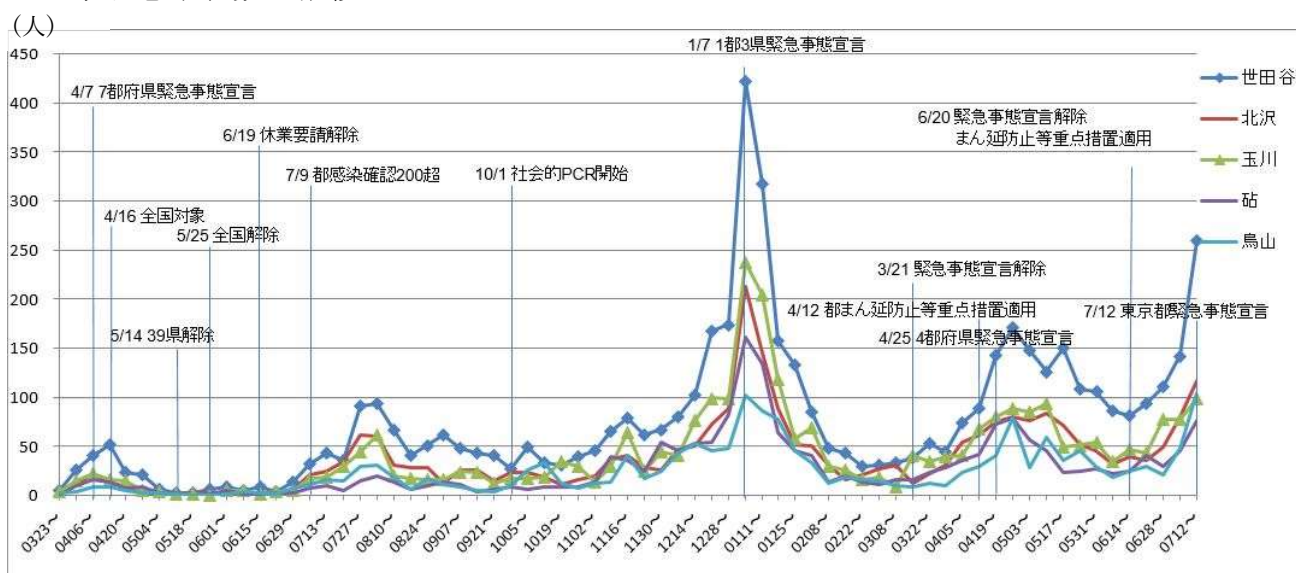
<地域別感染者累計数・人口 10 万人当たりの件数>

	世田谷	北沢	玉川	砧	烏山	全体
累計数(人)	5,208	2,631	2,894	1,865	1,669	14,267
人口 10 万人あたりの数(人)	2048.77	1704.08	1278.55	1134.00	1378.61	1549.97

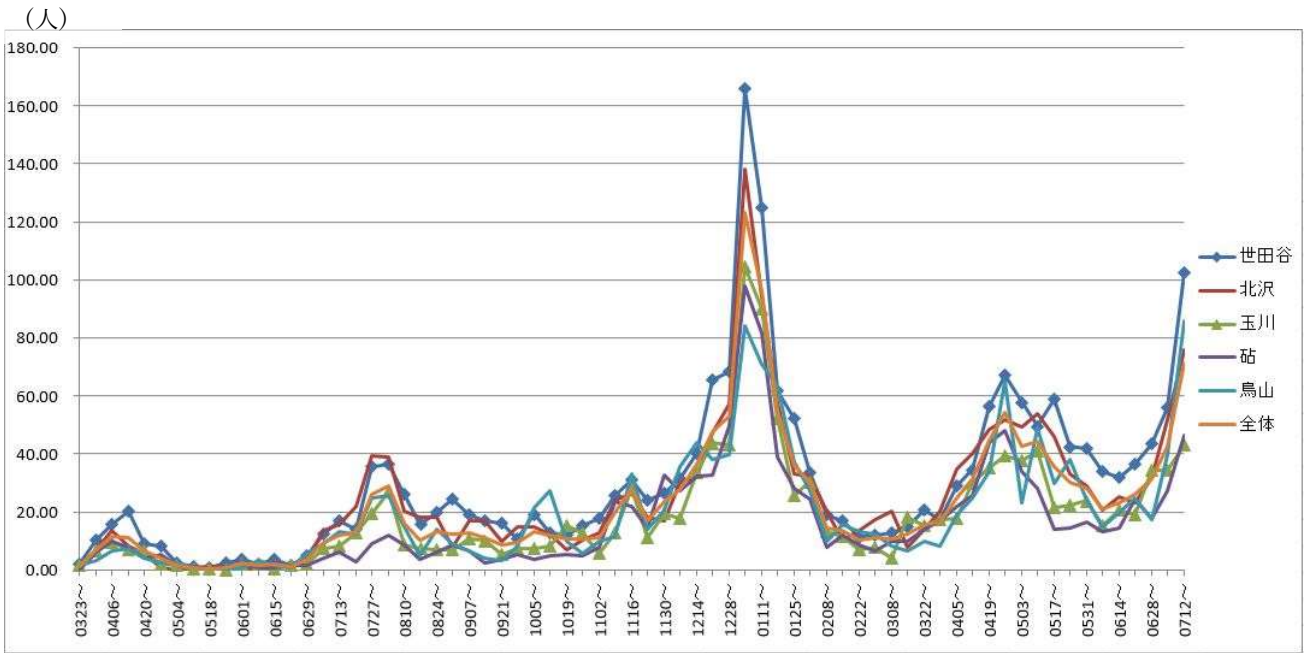
<地域別感染者累計数>【令和 3 年 7 月 1 8 日現在】



<地域別感染者数の推移>



<人口 10 万人当たりで比較>



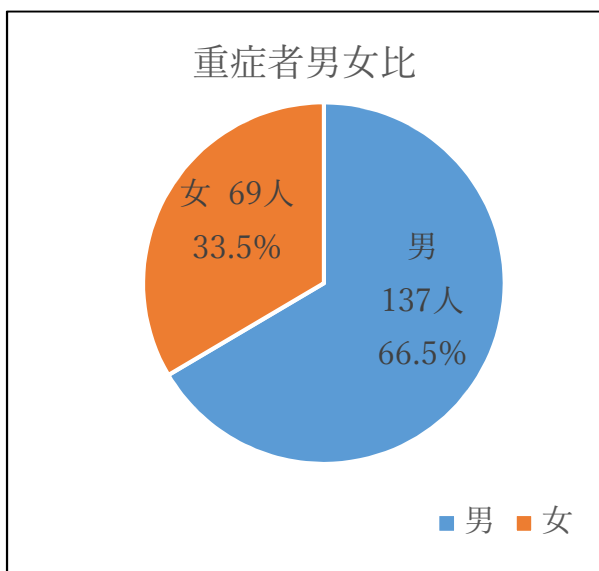
## (7) 重症等の患者の状況

新型コロナウイルス感染症に罹患した 14,267 人のうち、医療機関等からの報告により、区が重症等（人工呼吸器管理、死亡等）を把握した症例は 206 件です。このうち、体外式膜型人工肺（エクモ）による治療を受けていることを区が把握した事例は 4 件、人工呼吸器管理を実施した事例は 45 件でした。令和 3 年 4 月以降、重症等の症例も増加しています。

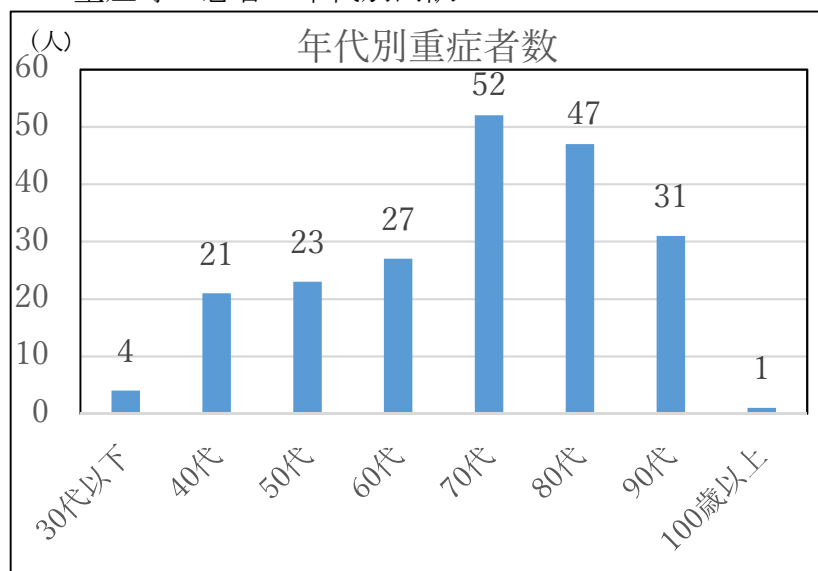
全感染者数のうち、30 代以下の感染者数が過半数を占めているものの（（4）年代別の感染状況参照）、重症等の患者のほとんどが 40 代以上であり、30 代以下の重症等のリスクは低いという傾向が表れています。206 例における男女比、年代、基礎疾患の有無、人工呼吸器使用の有無、症状の経過状況は以下のとおりです。

なお、区が把握した 206 例のうち、症状の経過により死亡に至った事例は 102 件でした（基礎疾患により死亡した可能性も含まれます）。

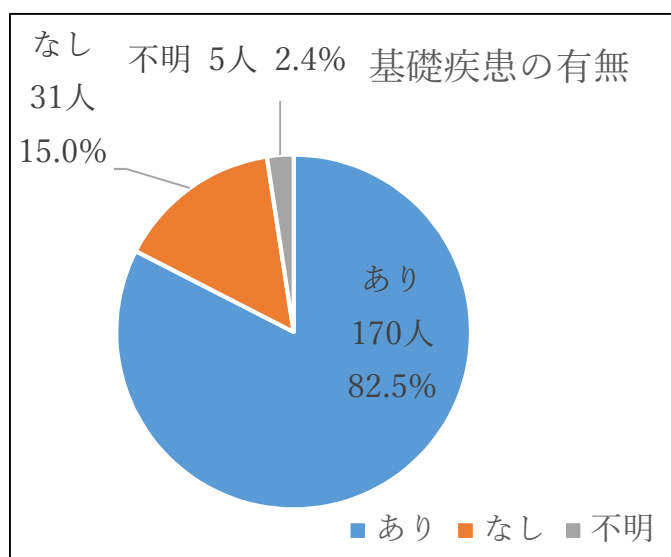
<重症等の患者の男女比>



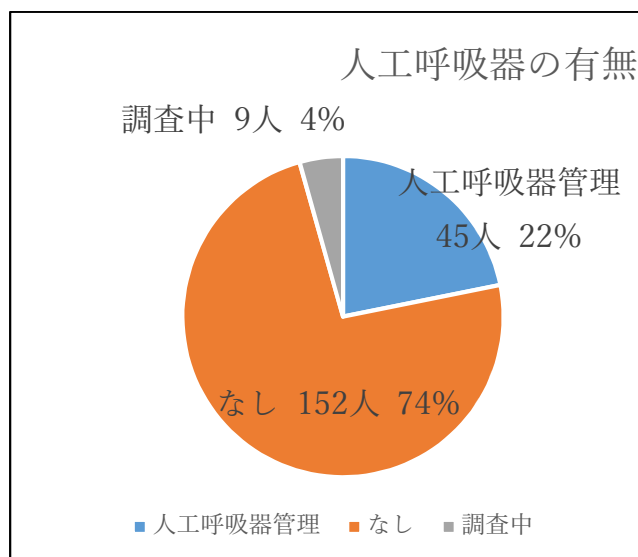
<重症等の患者の年代別内訳>



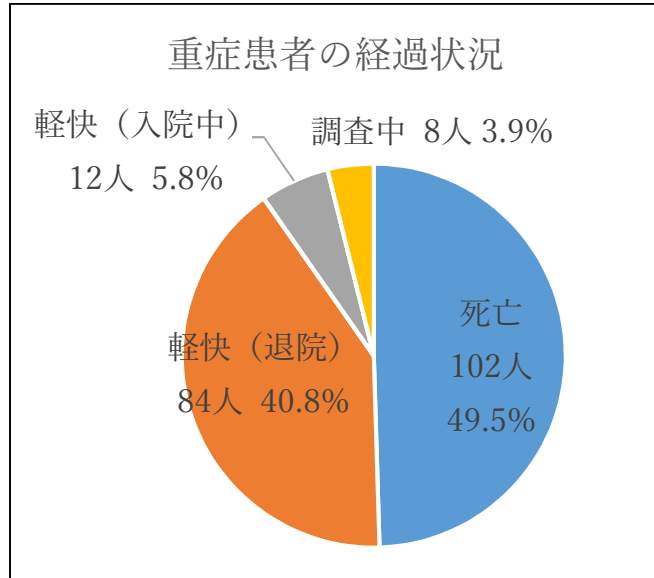
<重症等の患者の基礎疾患の有無>



<重症等の患者の人工呼吸器使用の有無>

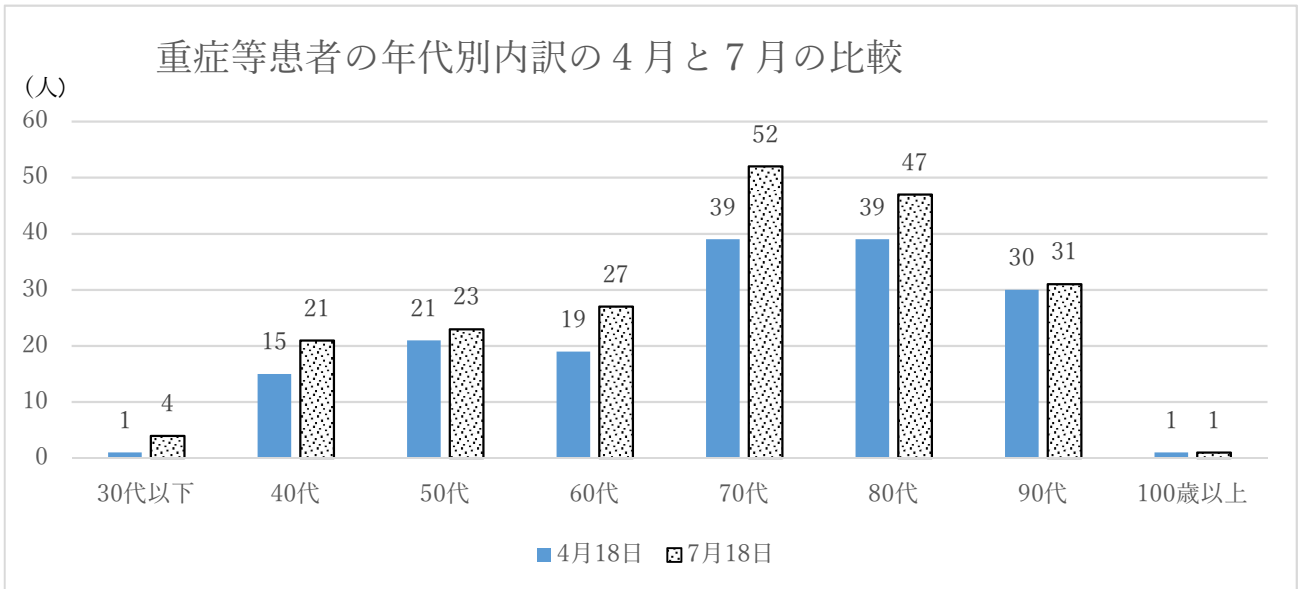


<重症等の患者の症状の経過状況>



<重症等の患者の年代別内訳と前回（令和3年4月18日時点）との比較>

	30代以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	計
4月18日	1人	15人	21人	19人	39人	39人	30人	1人	165人
7月18日	4人	21人	23人	27人	52人	47人	31人	1人	206人
4月→7月の増加割合	4.00倍	1.40倍	1.10倍	1.42倍	1.33倍	1.21倍	1.03倍	1.00倍	1.25倍



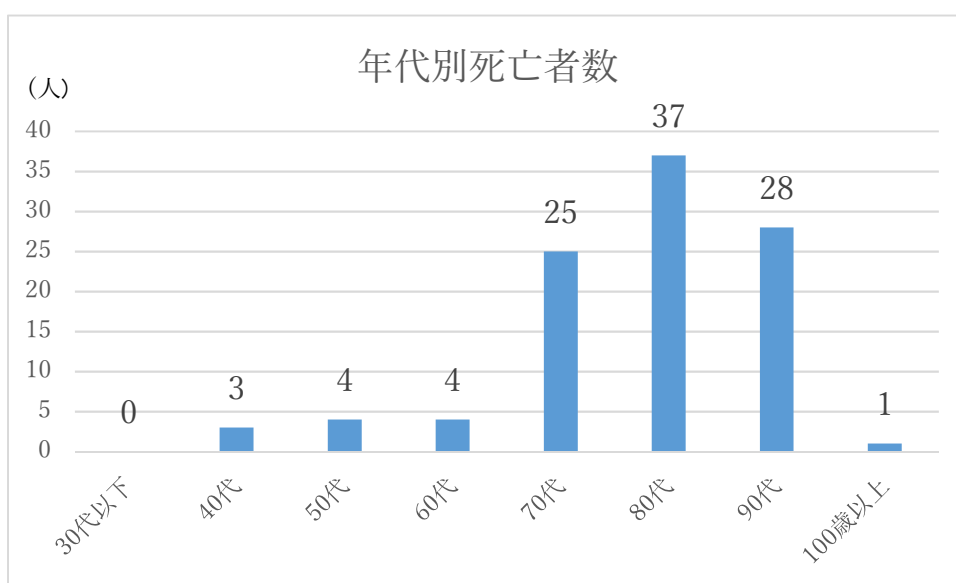
■年代別では70歳代が最も多いが、60歳代の増加割合が1.42倍と最も高い



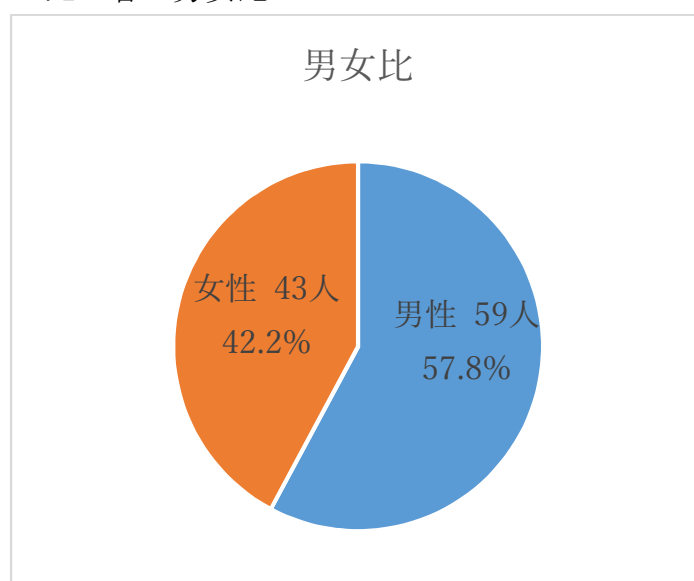
## (8) 死亡者の状況

令和3年7月18日現在、病院等からの連絡により区が把握した、感染者における死亡者数は102人です（区外医療機関等で診断され、入院先または療養先も区外医療機関である場合については、区保健所が関わっていないため、含まれていません）。年代別の死亡者数は、80代が37人と最も多く、90代が28人、70代が25人、60代が4人、50代が4人、40代が3人、100歳以上が1人となっており、30代未満の死亡者は出ていません。年代別の感染者数では20代から50代が多い一方、死亡者数は80代が最多となっていることから、高齢者ほどリスクが高く、より感染を防ぐ対策が必要です。また、死亡者全102人のうち、男性が59人、女性が43人となっており、男性が多い傾向にあります。さらに、102人のうち94人に基礎疾患があり、全国的な傾向と同じく、基礎疾患がある人ほど死亡のリスクが高い状況となっています。

<年代別死亡者数>

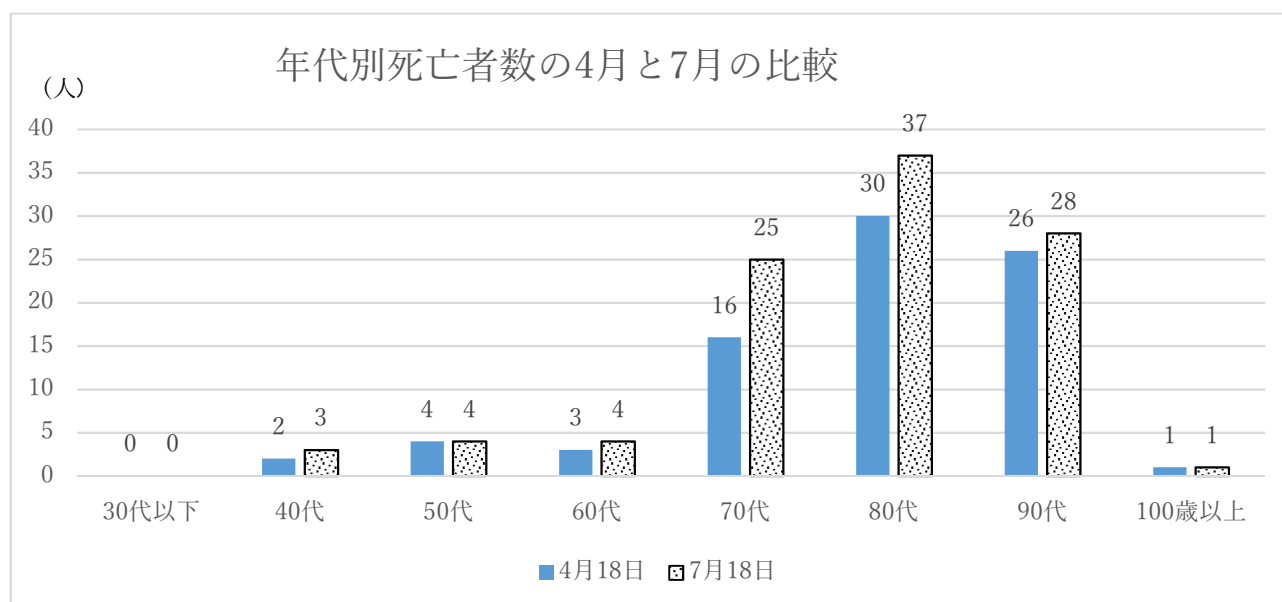


<死亡者の男女比>



＜年代別死亡者数と前回（令和3年4月18日時点）との比較＞

	30代以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	計
4月18日	0人	2人	4人	3人	16人	30人	26人	1人	82人
7月18日	0人	3人	4人	4人	25人	37人	28人	1人	102人
4月→7月の増加割合	-	1.50倍	1.00倍	1.33倍	1.56倍	1.23倍	1.08倍	1.00倍	1.24倍



■年代別では80歳代の死亡数が最も多いが、70歳代の死亡増加割合が1.56倍と最も高い

## (9) 感染源の状況

令和3年7月18日までの区内の新規感染者のうち、感染源不明（調査中含む）と区分している患者は、全体の約57.3%となっています。

一方で、感染源判明と区分している患者について、家庭内感染が43.7%、飲食店での会食等による感染が12.5%、職場内感染が13.5%などとなっており、直近の感染源の状況を見ると、家庭内での感染の割合が増加しています。これに伴い、子どもや高齢者も含めた全年代に感染が広がるのが懸念されます。

こうした状況を踏まえ、密閉、密集、密接といった3つの密を避け、「自ら感染しない」と「他者に感染させない」ことに十分留意する必要があります。

また、家庭内や会食等での感染拡大を防止するため、感染拡大を防止する細やかな配慮とリスクを最大限回避する習慣を一人ひとりが実践することが大切です。

なお、感染源判明と区分している患者の感染源分類の内訳、直近の感染源の状況は、以下のとおりです。令和2年度と現在を比較しますと、「家庭内」「職場」「保育園・幼稚園」が増加し、「医療機関」「福祉施設」が減少しています。

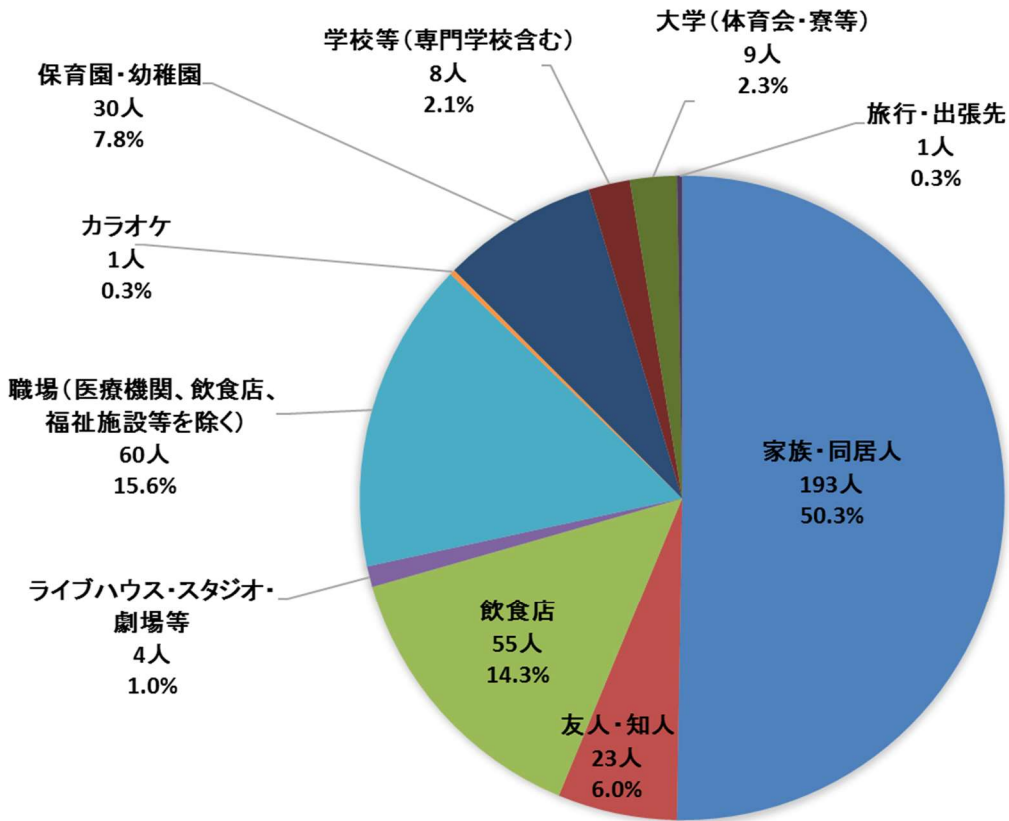
< 感染源分類の内訳（感染源が区内・区外問わず分類）【累計】 >

	～令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)								総計	
	～3月		4月		5月		6月		7月(18日まで)			
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
感染源判明	3,866	42.5%	625	45.9%	770	48.4%	399	40.0%	434	35.6%	6,094	42.7%
(感染源分類・内訳)												
①家族・同居人	1,633	42.2%	271	43.4%	352	45.7%	192	48.1%	216	49.8%	2,664	43.7%
②友人・知人	349	9.0%	38	6.1%	80	10.4%	34	8.5%	29	6.7%	530	8.7%
③医療機関	289	7.5%	17	2.7%	9	1.2%	1	0.3%	0	0.0%	316	5.2%
④飲食店	502	13.0%	78	12.5%	68	8.8%	54	13.5%	61	14.1%	763	12.5%
(④のうち「接待を伴う飲食店」と推定される人数)	(39)		(0)		(1)		(2)		(0)		(42)	
⑤福祉施設	271	7.0%	28	4.5%	37	4.8%	4	1.0%	0	0.0%	340	5.6%
⑥ライブハウス・スタジオ・劇場等	100	2.6%	8	1.3%	20	2.6%	6	1.5%	5	1.2%	139	2.3%
⑦職場(医療機関、飲食店、福祉施設等を除く)	433	11.2%	112	17.9%	132	17.1%	77	19.3%	69	15.9%	823	13.5%
⑧カラオケ	32	0.8%	1	0.2%	1	0.1%	3	0.8%	1	0.2%	38	0.6%
⑨商業施設(スーパー・家電量販店など)	2	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.0%
⑩保育園・幼稚園	38	1.0%	6	1.0%	6	0.8%	6	1.5%	32	7.4%	88	1.4%
⑪学校等(専門学校含む)	36	0.9%	21	3.4%	24	3.1%	6	1.5%	8	1.8%	95	1.6%
⑫帰国者	4	0.1%	5	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.1%
⑬大学(体育会・寮等)	128	3.3%	35	5.6%	35	4.5%	11	2.8%	11	2.5%	220	3.6%
⑭スポーツジム	12	0.3%	1	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	14	0.2%
⑮旅行・出張先	6	0.2%	1	0.2%	2	0.3%	2	0.5%	2	0.5%	13	0.2%
⑯結婚式	6	0.2%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.1%
⑰習い事	25	0.6%	2	0.3%	2	0.3%	3	0.8%	0	0.0%	32	0.5%
感染源不明	5,230	57.5%	737	54.1%	822	51.6%	599	60.0%	784	64.4%	8,172	57.3%
調査中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	9,096	100.0%	1,362	100.0%	1,592	100.0%	998	100.0%	1,218	100.0%	14,266	100.0%

※本資料中の他の統計や区のホームページ上の数値等と集計時点及び集計期間が異なるため、数値に差異が生じています。

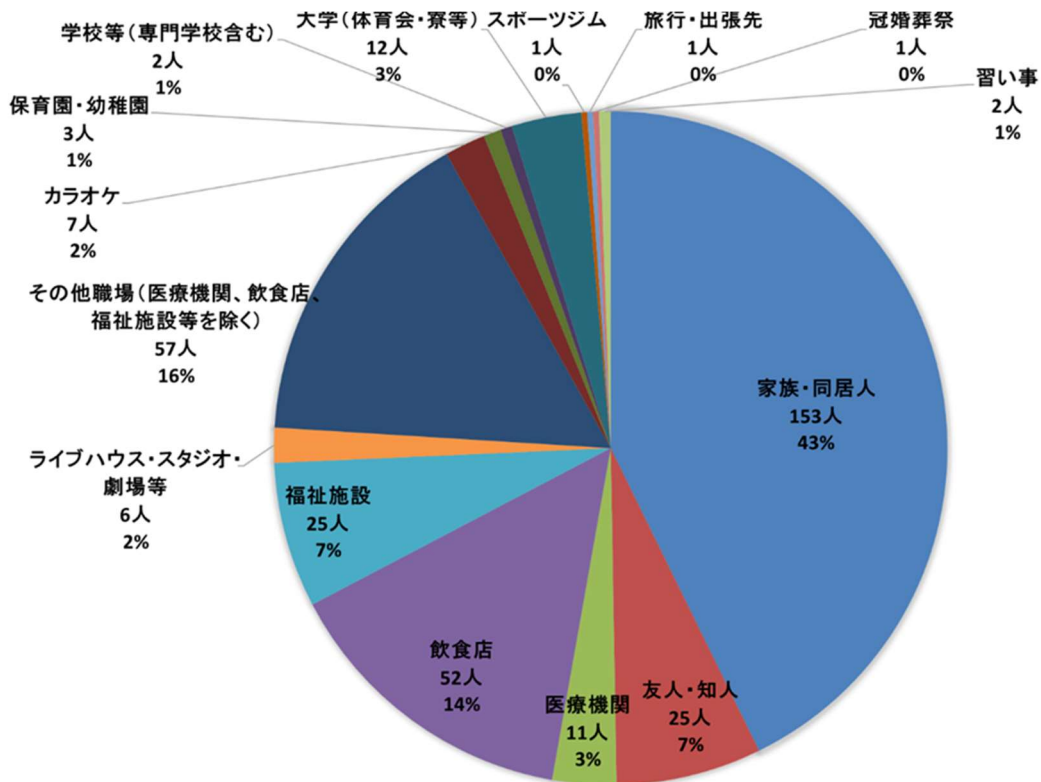
※あくまでも感染源は推定であり、感染源分類については疫学調査をもとに区が独自に分類しました。

<直近の感染源の状況（7月5日～7月18日）>



判明した感染源別の状況(7月5日～7月18日)

【参考】前回（令和3年4月18日時点）の感染源の状況（3月22日～4月18日）



判明した感染源別の状況(3月22日～4月18日)

<主な感染源分類の令和2年度と令和3年7月との比較>

主な感染源分類・内訳	①令和2年度 感染源の状況 構成比	②令和3年7月 感染源の状況 構成比	②-①
家族・同居人	42.2%	49.8%	7.6 ポイント
医療機関	7.5%	0.0%	△7.5 ポイント
福祉施設	7.0%	0.0%	△7.0 ポイント
職場（医療機関、飲食 店、福祉施設等を除く）	11.2%	15.9%	4.7 ポイント
保育園・幼稚園	1.0%	7.4%	6.4 ポイント
合計	68.9%	73.1%	4.2 ポイント

## (10) 濃厚接触者の状況

感染者が発生した場合、その濃厚接触者について、保健所が健康観察を行っています。市内の応援体制を組み合わせながら健康観察を行っていますが、積極的疫学調査実施要領改訂に伴い、令和2年5月29日以降、健康観察者にPCR検査を実施しており、感染者一人に対し、多数の接触者が発生するために、一人ひとりへのPCR検査の案内や結果通知、健康観察といった業務に係る負担が大きい状況になっています。令和3年7月18日現在の状況は以下のとおりです。

<濃厚接触者への健康観察の状況>

【令和3年7月18日現在】

濃厚接触者	観察終了		観察中	PCR検査陽性
	症状なし・PCR検査陰性等	連絡不通		
42,116	37,261	8	2,000	2,847

※症状なし、PCR検査陰性、連絡不通等で14日間の健康観察期間を終えた場合は、健康観察終了となります。

※観察中には、PCR検査の検査待ちや結果待ちの方のほか、PCR検査結果が陰性で健康観察期間中の方等を含みます。

※PCR検査の陽性者は、感染者に移行します。

<地域別の濃厚接触者の状況>

【令和3年7月18日現在】

	世田谷	北沢	玉川	砧	烏山	区外	その他	計
観察終了	10,863	6,475	9,246	5,182	3,769	46	1,688	37,269
観察中	572	320	506	321	273	0	8	2,000
PCR検査陽性	905	461	565	418	394	16	88	2,847
計	12,340	7,256	10,317	5,921	4,436	62	1,784	42,116

【参考】地域別の濃厚接触者の状況におけるその他の内訳

	区内医療機関・社会福祉施設等でまとめて観察	住所未申告 (電話番号のみ把握等)	区内住所不明	計
観察終了	631	1,050	7	1,688
観察中	0	8	0	8
PCR検査陽性	18	70	0	88
計	649	1,128	7	1,784

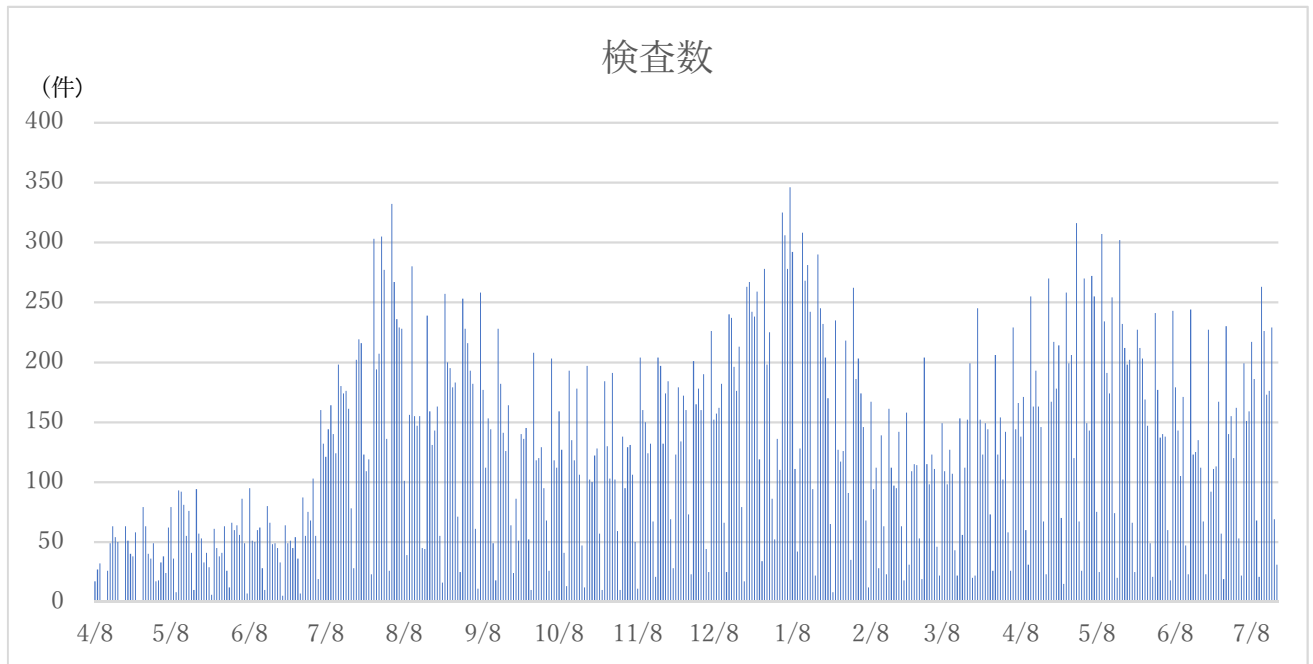
## (11) PCR検査（従来型）数の推移

<PCR検査件数>

実施月	検査数
令和2年4月	786件
5月	1,411件
6月	1,518件
7月	4,597件
8月	4,845件
9月	3,797件
10月	3,365件
11月	3,581件
12月	5,099件
令和3年1月	5,504件
2月	2,964件
3月	3,483件
4月	4,507件
5月	5,042件
6月	3,721件
7月※18日時点	2,525件
<b>累計※7月18日時点</b>	<b>56,745件</b>

※世田谷保健所（行政検査）、玉川医師会（保険適用）、世田谷区医師会（保険適用）、区内医療機関  
※検査数は区内で検査を受けた区民の検査数であり、区外で検査を受けた区民や区内で検査を受けた区外の方の数は含まれません。また、陰性確認検査として一人で複数回実施した検査件数を含んでいます。

<PCR検査件数の推移>





## (12) PCR検査（社会的検査）の実施実績

介護事業所等を対象としたPCR検査（社会的検査）の実施実績は次のとおりです。

<全体>

	行政検査			スクリーニング検査 【1月13日受付開始】
	計	【10月1日受付開始】		
		随時検査	定期検査	
実施施設数	696 施設	257 施設	439 施設	297 施設
介護事業所	456 施設	120 施設	336 施設	214 施設
障害者施設	113 施設	20 施設	93 施設	82 施設
上記以外	127 施設	117 施設	10 施設	1 施設
延べ施設数	1,265 施設	387 施設	878 施設	1,059 施設
介護事業所	875 施設	200 施設	675 施設	778 施設
障害者施設	212 施設	36 施設	176 施設	277 施設
上記以外	178 施設	151 施設	27 施設	4 施設
検査数	23,649 件	9,010 件	14,639 件	11,128 件
介護事業所	16,722 件	4,705 件	12,017 件	7,214 件
障害者施設	2,799 件	543 件	2,256 件	3,714 件
上記以外	4,128 件	3,762 件	366 件	200 件
陽性者数 (陽性率)	128 件 (0.54%)	103 件 (1.14%)	25 件 (0.17%)	
陽性把握 実施施設数	40 施設	28 施設	12 施設	
介護事業所	30 施設	19 施設	11 施設	
障害者施設	2 施設	1 施設	1 施設	
上記以外	8 施設	8 施設	0 施設	

※行政検査の実績数には保健所や医師会等で行っている従来型のPCR検査の実績数は含まれていません。

【定期検査およびスクリーニング検査 前回（令和3年4月18日）からの施設種別実施施設数の推移】

《定期検査》

	4月18日	7月18日	前回からの増
高齢者施設	316	336	20
障害者施設	85	93	8

《スクリーニング検査》

	4月18日	7月18日	前回からの増
高齢者施設	172	214	42
障害者施設	50	82	32

■定期検査については、4月から高齢者施設は約20施設、障害者施設は8施設の増加に留まっているが、スクリーニング検査は、高齢者施設は約40施設、障害者施設は約30施設増加している。

■令和3年1月から実施しているスクリーニング検査では、主に通所・訪問事業者を対象とし、職員の都合に合わせて事前に検体採取をすることができるなど、その検査の受けやすさから受検施設数が伸びている。

週ごとの検査数 合計14,639人(7月18日現在) 定期検査  
 週ごとの陽性者数 合計25人(7月18日現在) 定期検査



週ごとの検査数 合計9,010人(7月18日現在) 随時検査  
 週ごとの陽性者数 合計103人(7月18日現在) 随時検査



週ごとの検査数 合計11,128件(7月18日現在) スクリーニング検査



### (13) クラスター発生状況

区内におけるクラスター（5人以上の患者発生があった施設）は、飲食店5件、医療機関12件、高齢者福祉施設28件、保育園5件、幼稚園1件、小学校3件、中学高校7件、大学4件、寮等の共同住宅12件、その他17件の合計94件です。（令和3年7月18日現在）

区内のクラスター発生状況について、医療機関では発生しておらず、高齢者施設においても減少しています。

今般の流行に伴い、保育園や学校、学生寮、その他の施設（会社や遊戯施設など）の集団発生事例が増加しており、注意が必要な状況です。

#### <区内のクラスター発生状況【累計】>

施設等	1月31日現在 (前々回報告時点)	4月18日現在 (前回報告時点)	7月18日 現在	前回からの 増
飲食店	3件	5件	5件	—
医療機関	9件	12件	12件	—
社会福祉施設	18件	24件	28件	+4
保育園	2件	3件	5件	+2
幼稚園	1件	1件	1件	—
小学校			3件	+3
中学・高校	3件	5件	7件	+2
大学	1件	1件	4件	+3
学生寮等/共同住宅	7件	7件	12件	+5
その他 (会社や遊戯施設など)	2件	6件	17件	+11
計	47件	64件	94件	+30

## (14) 社会福祉施設等での感染の発生状況

医療機関や高齢者施設におけるクラスターの発生が減少しておりますが、一方で、区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は 530 件把握しています（令和 3 年 7 月 18 日現在）。前回集計時（令和 3 年 4 月 18 日現在）の 379 件から、この 3 か月の間で約 1.4 倍の件数となりました。依然として高い水準で推移しています。また内訳では、前回集計時からこれまでの発生件数について保育施設等が 65 件となっており、前回集計時もっとも発生件数が多かった高齢者サービスを超えています。

### <社会福祉施設等での感染の発生状況【累計】>

施設等		1月31日現在 (前々回報告時点)	4月18日現在 (前回報告時点)	7月18日 現在	前回から の増
高齢者 サービス	通所介護	34 件	44 件	52 件	+ 8 件
	地域密着型通所介護	25 件	29 件	37 件	+ 8 件
	短期入所生活介護	5 件	6 件	7 件	+ 1 件
	認知症対応型共同生活介護	6 件	8 件	11 件	+ 3 件
	有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）	15 件	20 件	30 件	+10 件
	訪問介護	21 件	30 件	37 件	+ 7 件
	訪問リハビリテーション	1 件	1 件	2 件	+ 1 件
	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）	18 件	18 件	21 件	+ 3 件
	訪問看護	3 件	5 件	6 件	+ 1 件
	総合事業	1 件	1 件	1 件	—
	介護老人保健施設	3 件	5 件	6 件	+ 1 件
	居宅介護支援	1 件	4 件	5 件	+ 1 件
	通所リハビリテーション	2 件	6 件	6 件	—
	看護小規模多機能型居宅介護	1 件	1 件	2 件	+ 1 件
	認知症対応型通所介護	1 件	2 件	2 件	—
	都市型軽費老人ホーム	1 件	1 件	1 件	—
	地域密着型特別養護老人ホーム（地域密着型 介護老人福祉施設入所者生活介護）	1 件	1 件	1 件	—
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 件	1 件	1 件	—
	訪問入浴介護	1 件	1 件	1 件	—
	介護予防支援	—	1 件	1 件	—
小規模多機能型居宅介護	—	—	2 件	+ 2 件	
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設入 居者生活介護含む）	—	—	2 件	+ 2 件	
住宅型有料老人ホーム	—	—	1 件	+ 1 件	
計	141 件	185 件	235 件	+50 件	

施設等		1月31日現在 (前々回報告時点)	4月18日現在 (前回報告時点)	7月18日 現在	前回から の増
障害者 サービス	障害児通所施設	8件	8件	14件	+6件
	障害者通所施設	10件	16件	21件	+5件
	障害者入所施設	2件	2件	3件	+1件
	居宅介護事業所	5件	7件	7件	—
	相談支援事業所	1件	2件	2件	—
	障害者グループホーム	2件	5件	7件	+2件
	計	28件	40件	54件	+14件
保育 施設等	企業主導型保育施設	1件	1件	1件	—
	私立認可保育園	66件	83件	127件	+44件
	区立認可保育園	17件	24件	32件	+8件
	認証保育所	8件	9件	11件	+2件
	認可外保育施設	7件	14件	19件	+5件
	私立認定こども園	6件	6件	12件	+6件
	一時預かり施設	1件	1件	1件	—
	地域子育て支援拠点施設	—	1件	1件	—
	計	106件	139件	204件	+65件
幼稚園	私立幼稚園	9件	14件	36件	+22件
	区立幼稚園	—	1件	1件	—
	計	9件	15件	37件	+22件
計		284件	379件	530件	+151件

【参考①】 区立小中学校での感染の発生状況【累計】

施設等	1月31日現在 (前々回報告時点)	4月18日現在 (前回報告時点)	7月18日 現在	前回から の増
区立小学校	98件	141件	236件	+95件
区立中学校	44件	54件	80件	+26件

【参考②】 高齢者施設での月別陽性者（令和3年4月～7月）

月	職員 陽性者数	利用者 陽性者数	陽性者数	クラスター 発生数
4月	24人	29人	53人	3件
5月	24人	39人	63人	3件
6月	7人	4人	11人	0件
7月(18日まで)	6人	4人	10人	0件
合計	61人	76人	137人	6件

## (15) 区立施設での感染の発生状況

区立施設（社会福祉施設等を除く）では、職員等の感染事例がこれまでに 371 件発生しています。（令和 3 年 7 月 18 日現在）

庁舎等で 52 件、区立小学校で 236 件、区立中学校で 80 件、その他 3 件の感染事例が発生しており、感染事例が増加しています。

< 区立施設（社会福祉施設等を除く）での感染の発生状況【累計】 >

施設等	1月31日現在 (前々回報告時点)	4月18日現在 (前回報告時点)	7月18日 現在	前回からの 増
本庁舎等	19 件	24 件	36 件	+12 件
世田谷総合支所 (保健福祉センター含む)	1 件	1 件	3 件	+2 件
北沢総合支所 (保健福祉センター含む)	—	—	3 件	+3 件
玉川総合支所 (保健福祉センター含む)	1 件	1 件	1 件	—
砧総合支所 (保健福祉センター含む)	1 件	1 件	3 件	+2 件
烏山総合支所 (保健福祉センター含む)	4 件	4 件	4 件	—
中央図書館	1 件	1 件	2 件	+1 件
区立小学校	98 件	141 件	236 件	+95 件
区立中学校	44 件	54 件	80 件	+26 件
その他	2 件	2 件	3 件	+1 件
計	171 件	229 件	371 件	+142 件

※区立小学校、区立中学校については教職員だけでなく、児童生徒の感染状況も含めた発生件数を計上しています。

## (16) 新型コロナウイルスワクチン接種状況

### ①ワクチン接種状況総括

区は、集団接種、個別接種、巡回接種（高齢者施設接種）を組み合わせ実施するとの方針のもと、安全性に最大限配慮した運営を進めています。

集団接種は5月上旬から開始し、6月上旬まで順次接種会場を増設して最大19会場で接種を実施するとともに、接種時間の短縮や全会場の1時間延長など接種体制の拡充に取り組み、接種回数は7月時点で1月あたり約15万回に達しています。

個別接種は6月下旬から開始し、短期間で計画を上回る医療機関に協力いただき、7月には1月あたり約9万回の接種回数となっています。

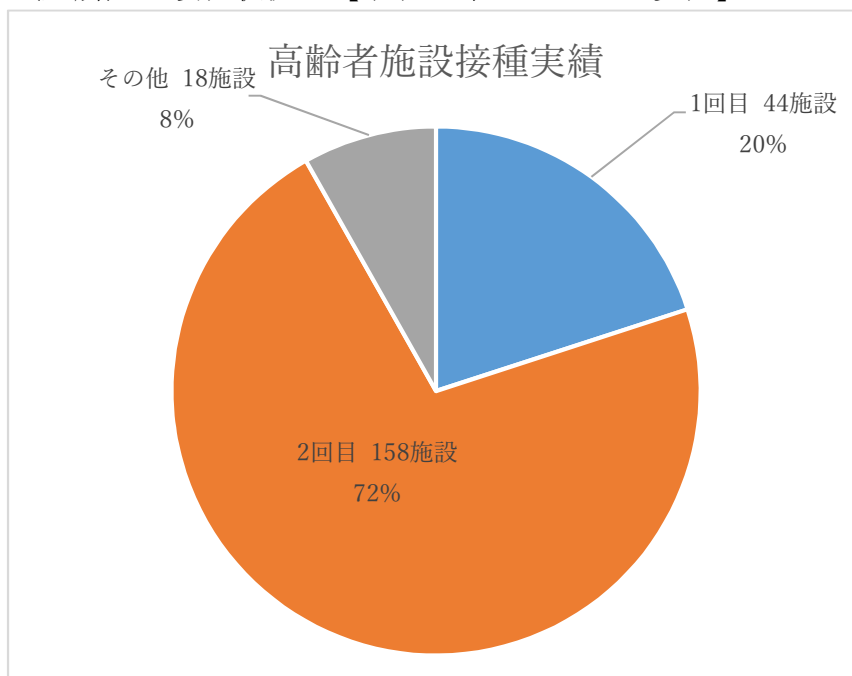
巡回接種は、開始当初の4月下旬は1チームでスタートしたが、6月中には10チームに拡大し、嘱託医による接種も併せて、7月中には概ね高齢者施設入所者の接種が完了する見通しです。

これらの取組みにより、7月末までに区の高齢者の85%が接種可能な体制を整備しました。

一方で、第3四半期（7～9月）に入り、国から供給されるワクチンが減少する見通しとなったことから、集団接種の予約枠の制限や、医療機関へのワクチン供給の制限など、接種体制の調整を要する状況となっています。

今後は、ワクチン供給量に応じた効率的な接種体制を整えるとともに、職域接種や大規模接種など多様な接種体制との連携を図りながら、希望する区民ができる限り早期に接種を受けられるよう取り組んでいきます。

### ②高齢者施設（入所）の接種状況 【令和3年7月18日現在】

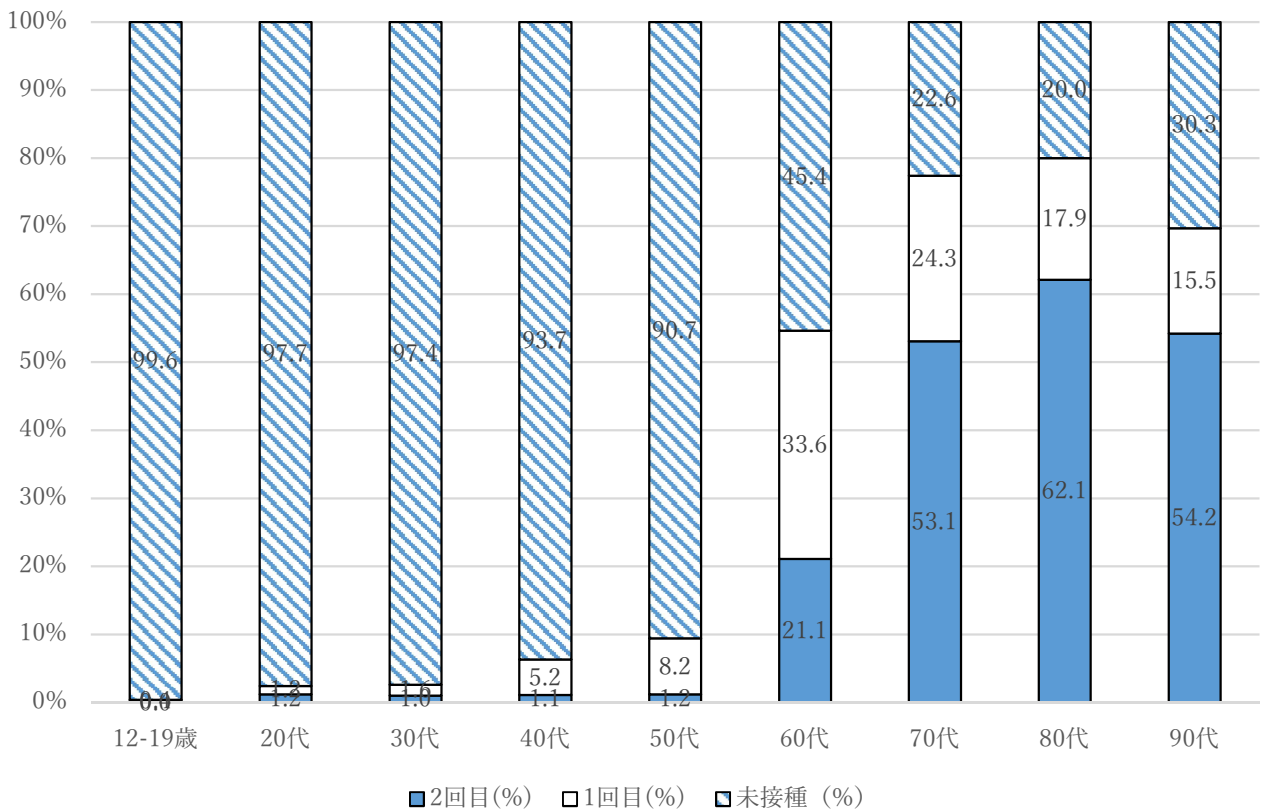


※その他は集団接種会場での接種や未接種施設等

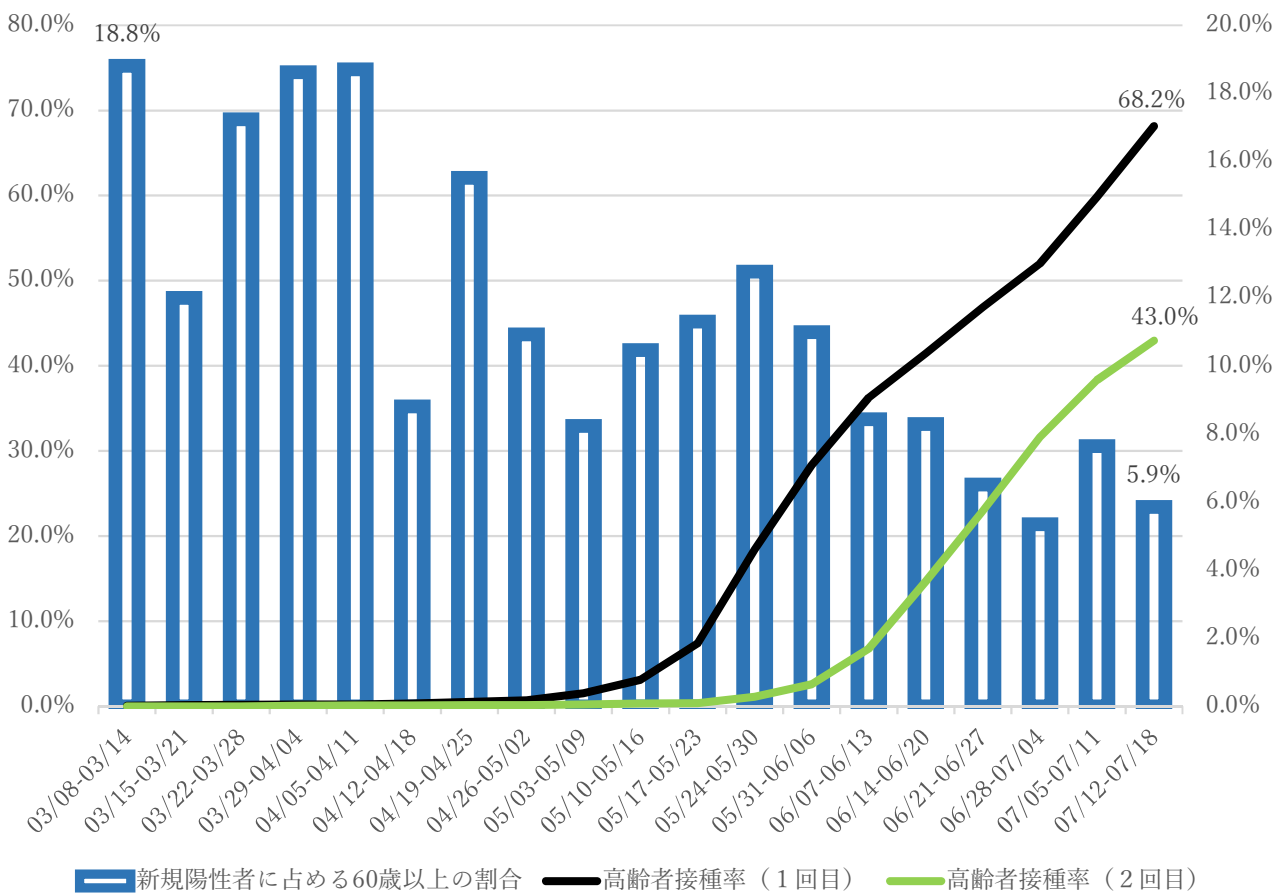
#### 【接種実績】

施設入所者	1回目接種	8,006人	2回目接種	6,357人
施設従事者	1回目接種	7,373人	2回目接種	5,778人

年代別ワクチン接種状況（参考）



高齢者のワクチン接種状況と新規陽性者（60歳以上の割合）





## (17) 令和2年度末の感染状況及び検査実績について（参考）

### 【令和3年3月31日現在】

#### <区内の感染者数>

感染者数	累計	9,090 人		
		男性	4,970 人	55%
		女性	4,120 人	45%

#### <区内の感染者数累計の内訳>

感染者数	累計	9,090 人	
		入院中	176 人
		宿泊療養中	51 人
		自宅療養中	67 人
		退院等（療養期間経過を含む）	8,715 人
	死亡	81 人	

#### <年代別感染者数の累計>

0～9 歳	10～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100～ 109 歳	不明	計
196 人	454 人	2,643 人	1,871 人	1,337 人	1,116 人	541 人	434 人	316 人	162 人	4 人	16 人	9,090 人

#### <地域別感染者数の累計>

	世田谷	北沢	玉川	砧	烏山	全体
累計数	3,297 人	1,662 人	1,878 人	1,206 人	1,047 人	9,090 人

#### <濃厚接触者への健康観察の状況>（※データ集計の都合上、4月5日現在の数値を計上）

濃厚接触者	観察終了		観察中	PCR検査陽性
	症状なし・PCR検査陰性等	連絡不通		
28,549 人	25,402 人	7 人	1,108 人	2,032 人

<PCR検査（従来型）件数実績>

	検査数
令和2年4月1日～令和3年3月31日	40,950件

<PCR検査（社会的検査）件数実績>

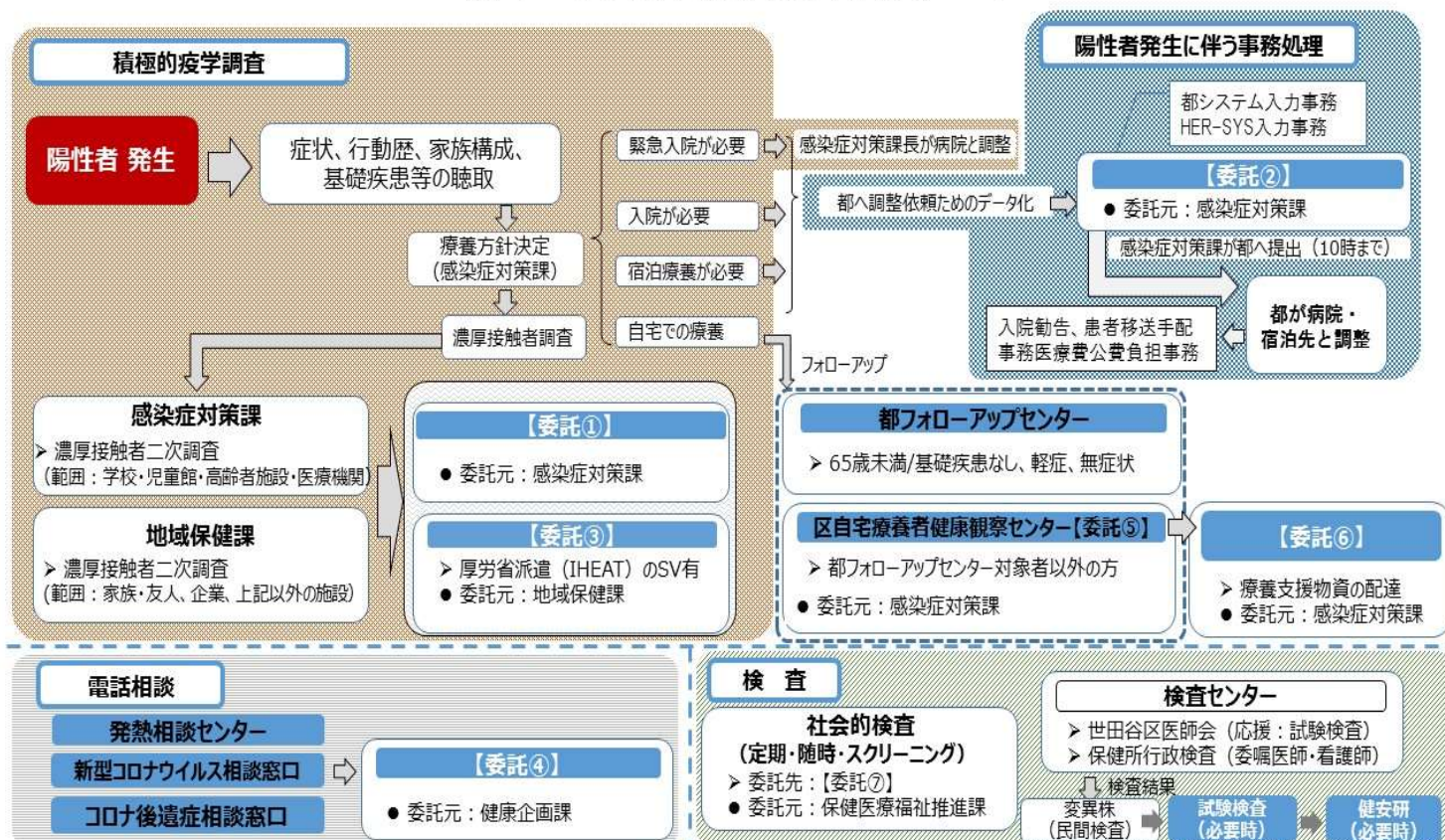
検査数	行政検査	随時検査	5,166件
		定期検査	10,956件
	スクリーニング検査		2,660件

## 2. 区の感染予防の取組み（令和3年7月18日現在）

### （1）新型コロナウイルス感染症に関する業務フロー

区は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、保健所・保健福祉政策部はじめ区の関係所管部の職員及び民間の多様な人材の活力を活用し、次のようなフローで対応を行っています。

＜新型コロナウイルス感染症対応の体制とフロー＞



### （2）新型コロナウイルス感染症後遺症への対応

区内では令和3年7月18日現在、新型コロナウイルス感染症陽性者が累計14,267人となっており、このうち、退院後や療養期間の終了後も、何らかの症状が残り、相談や受診を希望する声が一定数寄せられています。

このような状況を踏まえ、区における新型コロナウイルス感染症後遺症への対応として、相談窓口の設置を行いました。

#### ＜「世田谷区コロナ後遺症相談窓口」の設置＞

##### ①概要

- |         |                        |
|---------|------------------------|
| 1) 名称   | 世田谷区コロナ後遺症相談窓口         |
| 2) 開設時間 | 月曜～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 |
| 3) 電話番号 | 03-5432-2910           |
| 4) 設置日  | 令和3年4月12日              |

## ②相談の流れ

陽性となった患者から療養期間終了後も続く症状を丁寧に聞き取ります。

必要に応じて東京都が設けている「コロナ後遺症相談窓口」をはじめ、医療機関への案内を行います。

## ③実績

月	相談件数
4月(14日間)	16
5月(21日間)	38
6月(22日間)	29
7月(12日間)	22
合計	105

また、状況を把握するため、区における新型コロナウイルス感染症後遺症のアンケート調査を実施しています。

### <新型コロナウイルス感染症の後遺症についてのアンケート調査>

#### ①目的

新型コロナウイルス感染症療養後の後遺症の実態を把握し、後遺症への適切な対応や感染予防の啓発を行うための参考とする

#### ②対象者

令和3年4月15日時点で世田谷保健所に提出された発生届でかつ当保健所にて管理している者 9,682人

#### ③調査内容

- 1) 新型コロナウイルス感染症の診断時の状況に関すること。
- 2) 新型コロナウイルス感染症の療養生活中の状況に関すること。
- 3) 新型コロナウイルス感染症の療養生活後の症状に関すること。
- 4) 新型コロナウイルス感染症の療養生活中や療養生活終了後の困りごとに関すること。

#### ④調査方法

郵便回答または電子回答による。

#### ⑤スケジュール

調査票の発送	7月16日(金)
調査票の回収期限	8月6日(金)
調査報告書納品	10月下旬予定

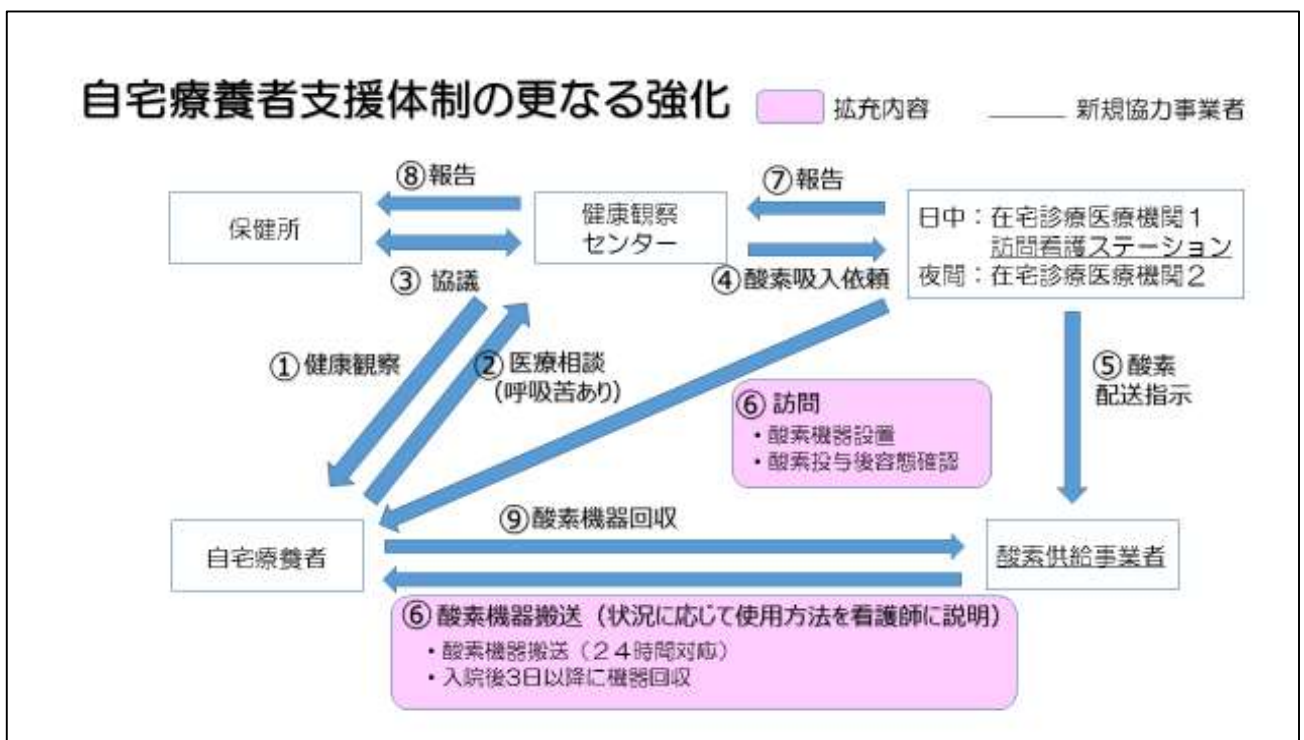
### (3) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者の増加を想定した対策強化

#### ①区の自宅療養者支援体制のさらなる強化

区内における新型コロナウイルス感染症の感染者は、7月中旬現在、1日90件程度発生しており、東京都全体でも感染者増加傾向は止まらず、感染再拡大は予断を許さない状況にあります。

令和3年4月下旬より、区、健康観察センターの受託事業者、在宅酸素供給事業者の3者が連携し、入院調整中で酸素吸入が必要な感染者へのフォローアップ体制を強化しました。主に自宅療養中に呼吸苦等の発現により症状が悪化し、入院調整が必要と判断された感染者を対象として、自宅に速やかに酸素濃縮器を運搬するとともに、医療職による在宅での酸素投与等の診療体制を整備しました。(図)

(図) 更なる強化の概念図



#### ②都の自宅療養者への医療支援策のさらなる活用

東京都でも、令和3年5月中旬より、自宅療養者が急増した場合に備え、都内全域において、自宅療養者の体調が悪化した場合、東京都・東京都医師会と地区医師会が連携し、地域の医師等による電話（オンライン含む）や訪問による診療が受けられる体制を構築しました。

区においても、東京都の自宅療養者支援のしくみを積極的に活用し、自宅療養者の支援に引き続き取り組んでいきます。

#### (4) 社会的検査の取組み

保健所等が実施する「感染症の疑いがある有症状の方や濃厚接触者のPCR検査」に加え、有症状者や濃厚接触者に限らない検査の取組みとして、施設利用者への感染を防ぎ、重症化を避けることや、施設内でのクラスター発生を抑止することを目的として令和2年10月から「社会的インフラを継続的に維持するためのPCR検査（社会的検査）」を実施しています。

<令和3年度実施概要>

	定期検査	随時検査	スクリーニング検査
検査対象	無症状の方		
特徴	医師の診断を伴う検査		医師の診断を伴う検査ではないため、「感染疑い」となった場合は、随時検査(医師の診断を伴う検査)の受検が必要
受検可能な頻度	1か月に1回程度	以下①又は②に当てはまる都度 ① 事業所・施設内で感染者が発生した場合、又は、スクリーニング検査で「感染疑い」者が発生した場合 ② (①以外の場合で) 事業所・施設の職員が感染者又は感染疑いのある方に接触した可能性が高く、かつ、感染の不安がある場合	1週間に1回程度
検体採取方法	医療従事者の立ち会いのもと、検体(鼻腔拭い液や唾液(自己採取)等)を採取		検体採取キット等受領後、検体(唾液)を自己採取
検査方法	検体プール検査法	検体個別検査	検体プール検査法

	職員・教員	利用者 入所者	職員・教員	利用者 入所者	職員・教員	利用者 入所者
介護事業所 (入所系)	対象	対象 (入居予定含む)	対象	対象※1	対象外	対象外
障害者施設 (入所系)	対象	対象 (入居予定含む)	対象	対象※1	対象※4	対象外
介護事業所 障害者施設 (通所系)	対象	対象外	対象	対象※1	対象	対象外
介護事業所 障害者施設 (訪問系)	対象	対象外	対象	対象※1※2	対象	対象外
一時保護所 児童養護施設等	対象	対象 (入居予定含む)	対象	対象※1	対象	対象外
保育園 幼稚園	対象外	対象外	対象	対象※1	対象外	対象外
小学校 中学校 新BOP	対象外	対象外	対象※1	対象※1※3	対象外	対象外

※1…随時検査の事由①の場合：対象 随時検査の事由②の場合：対象外

※2…利用者の自宅を事業所とみなし、サービス提供時に居合わせた利用者の同居家族等も対象。

※3…変異株の増加等により、子どもの感染拡大防止を目的に実施する場合。

※4…国や東京都の検査補助事業の対象となっている事業所・施設は除く。

## (5) 新型コロナウイルスワクチン住民接種の実施状況

### ①接種回数（令和3年7月16日時点）

内訳	1回目	2回目	合計
VRS※1	171,770回	104,119回	275,889回
医療機関（診療所）※2	37,466回	1,730回	39,196回
合計	209,236回	105,849回	315,085回

※1 国のワクチン接種記録システム（VRS）の集計（集団接種、病院での個別接種、国の大規模接種センターの実績。都の大規模接種センター、医療従事者接種の実績は含まない）

※2 医療機関（診療所）からの実績報告による。

### ②予約受付人数（令和3年7月16日時点）

約280,000人分（接種券発送済み人数：40歳以上の区民等約558,000人）

※区の予約システムの集計による（集団接種会場18、医療機関80）。

### ③個別接種の状況

6月21日から、区内医療機関（病院・診療所）での個別接種を開始し、7月18日時点で約350か所（1月あたり約90,000回）の医療機関から個別接種を実施する申し出を受け付けており、上記「①」のとおり、約39,000回の接種を行っている。

### ④高齢者施設

高齢者施設の巡回接種を6月22日から10チーム体制にし、接種を進めている。

7月18日時点で、嘱託医による接種を含めて202施設（対象施設220施設）、入所者と従事者を併せて27,514回の接種を行っている。